



麻生多摩美の森だより

55

麻生区市民健康の森 一麻生鳥のさえずり公園一

麻生多摩美の森の会広報紙第 55 号 2019 年 2 月 28 日発行

発行人：会長 井上 正樹

第 17 回植樹祭・収穫祭を振り返って

11 月 18 日（日）、気持ちの良いお天気の中、植樹祭・収穫祭を開催することができました。多田区長をはじめ、小学校校長先生や町内会会長の皆様にご出席いただき、総勢 240 名の参加者となりました。

今年は植樹祭の趣向を変えて、「森を知ろう！森で探そう」と題し、子ども達と一緒に楽しんでもらう企画を考案しました。

前半は、ドングリの苗床づくりと樹木のネームプレートつけのグループに分かれて、それぞれ作業を行いました。高橋英先生のアドバイスのもと、子ども達は真剣にドングリを植え、説明を聞いてくれました。

後半は参加者全員にビンゴカードを配布し、森の樹木を探したり、森で作っているサトイモやシイタケを見てもらったり森のアピールポイント満載のビンゴゲームでした、いよいよ待ちに待った収穫祭！



写真：ドングリの苗床



写真：けんちん汁

今年は多摩美子ども会のお母さん方を中心に地域の方が朝から「けんちん汁」「ゆでサトイモ」「焼き芋」を準備してくださいました。ビンゴで森を巡った後のけんちん汁や焼き芋はとても好評でした。

お腹も満足したところで、多摩美太鼓の皆さんによる演奏とアルプホルンとアコーディオンの演奏。森に響く音楽に癒されたひと時でした。

お天気に恵まれ、たくさんの皆様に森を知ってもらうことができ、会員一同感謝しております。

準備・企画会議より前日・当日の設営までご協力いただいた、多摩美みどりの会、多摩美の山トラストの会、多摩美子ども会、麻生プレーパークを創る会にはこの場を借りてお礼申し上げます。 飯野優子

カリタス学園女子中学3年生のクリスマス奉仕活動

伊丹伸行

12月18、19の両日カリタス学園の中学生の女子生徒達がクリスマス奉仕活動の一環として森の仕事に参加してくれました。(公財)川崎市公園緑地協会が主催するこのクリスマス奉仕活動は7年目を迎えました。

今年は18日に120名、19日に80名の生徒達が参加、麻生鳥のさえずり公園の周りの森で活動をされている、みどりの会、こもれびの会と共にその作業の支援をしてもらいました。

多摩美の森での作業は台風24号の強風で転倒した桐とコナラ木を鋸で切断し片付け、アズマネザサの林を道に沿って1メートル幅にわたり枯笹を切断し取り除き再生させること、その作業で発生する切断枝や枯れ笹、雑草などを運び出し、所定のゴミ置き場へ運搬するものです。

作業は10名程の少グループに分かれ協会から派遣されたリーダー達の指導の下で鋸を使い我々の指示に従って清掃と運搬を行うものです。



写真：倒木の運搬



写真：枯れザサのバケツリレー

笹林から雑草や枯れ笹を一行に並んでバケツリレー方式で運び出す作業を始めると、生徒達が合唱を始め、美しい歌声が森にこだましました。

最初は戸惑っていた鋸の使い方も慣れてくると太く固いコナラの幹を一気に輪切り出来るまで帰らないと頑張る生徒もいて作業は順調に進み無事に終了しました。

奉仕活動のお蔭で森は綺麗になり、笹林も少しづつ蘇ってきています。

苦労様でした。ご協力有難う御座いました。



写真：キリとコナラのひき比べ

森の会に参加して

椿 由里子

昨年の秋、小2になる息子が小学校の生活科の授業で多摩美の森の会の方にインタビューをする機会がありました。話を伺ってきた日に「僕、森の会に入りたい！」と言う息子。どんな活動をしているところか全く知らなかった私は、数日後に森で開催される里芋掘りに息子と一緒に参加してみることにしました。よく晴れた日の下で土に触れ、大きな里芋を掘り上げた息子の表情はとても清々しく、嬉しそうでした。その後も植樹祭・収穫祭に参加し、植物について学び自然の中で充実した時間を過ごしました。日頃は外で遊ぶことが少ない子供ですので、外に出る良い機会と思い、早速 森に行き入会をお願いすることにしました。大変嬉しいことに、私達親子を快く迎え入れて下さり、さっそく12月から活動に参加しています。重労働も多い中、子供でも取り組める落ち葉集めや清掃、肥料づくり、新年を迎える準備のお手伝いなどをやらせていただきました。また、しいたけや万福寺人参などの収穫にも立ち会いました。会員の皆さんから植物や生き物の話を聞いたり、森の作業を通して、改めて自然のありがたさ、大切さを学んでいます。この素敵な森が地域の人々の憩いの場としてずっと生き続けるよう微力ながらお手伝いできればこんな嬉しいことはありません。

森の会との出会い

椿 颯一郎

僕が森に入った理由はただ一つ。「森を守りたい。」その思いから森の会に入りました。西生田小学校の生活科で「西生田きらり探検隊」という授業があり、森の会にインタビューに来ました。この森を守るために、森の会の皆さんが色々な作業をしていることを知り、僕も参加したいと思いました。数日後に行われた里芋掘りに参加し、とても楽しかったので、さっそく森に行き、入会したいと伝えると、とても喜んでくださいました。

それから4回作業しました。カブトムシ用の落ち葉を集めたり、枯れ葉で肥料を作ったり、正月飾りをつけたり、笹の整理のお手伝いをしました。また、シイタケも収穫しました。植物のこと、野菜のこと、鳥のことなど色々なことを皆さんに教わっています。毎回初めての体験ばかりです。想像していたより力のいる作業が多くて大変ですが、すぐに慣れ、今では作業の日が楽しみでたまりません。



里芋掘り体験



シイタケの収穫

万福寺にんじん品評会に出席して

豊田雅章

最優秀賞はなんと 94 cm。先の方まで太く、甘みも香りも絶品、圧倒。

第 19 回 (19 年も続いているんです) 万福寺にんじん品評会が昨年 12/22 (土) 麻生市民館で行われました。多摩美の森の会を含む 33 の農園や学校、家庭菜園で採れたものが出品されました。当会のにんじんは 61.5 cm。写真のように、細身で、すらっとした (弱々しい) ものです。ということで選外でした。

最優秀賞、味覚賞、香り賞、姿 (ルックス) 賞、ユニーク賞、努力賞、特別賞いずれも見事な出来栄え。



今年は日照り続きだったので、8月に再度種まきをしたとか、水やりをこまめにやったなどの苦勞、工夫が聞かれました。

品評会のあとは、試食会・交流会。調理ボランティアによる、にんじんを使ったメニューはケーキや豚汁など7種類。いずれもとってもおいしく、堪能しました。今年は品評会・試食会に出席してみませんか。

今後の活動予定

副会長 中谷 一郎

新年初めての会報ですが、昨年暮れの植樹祭・収穫祭は人がもなく無事終了しました、またカリタス女子学園、クリスマス奉仕のお蔭で森の会だけでは出来ない作業が一気に完了し感謝の気持ちでいっぱいです。西生田小2年生から森のインタビューの感想文をいただきました次回に紹介したいと思います。本年もよろしくお願い致します。

ぜひ会員外の方も森に気楽においでくださり協力をお願いします。

今後の活動予定は下記の通りです。

- 3/2 (土) 里芋畑の耕作、シノダケ蔓除去、草刈。
- 3/17 (日) シノダケ蔓除去、草刈、清掃。
- 4/6 (土) 樹木の整備、蔓の除去、草刈、清掃。
- 4/21 (日) 里芋の室取出し、周辺ごみの収集。
- 4/27 (土) 第 17 回通常総会 (区役所)。
- 5/4 (土) 里芋畑の土寄せ、草刈、清掃。
- 5/19 (日) シノダケ蔓除去、草刈。清掃。
- 6/1 (土) 里芋畑の草取り、シノダケ蔓除去。
- 6/16 (日) 樹木の手入、草刈、清掃。

作業時間は10月から5月までは10時からです。

<http://web-asao.jp/hp2/tamami/>



←当会ホームページで本紙のバックナンバーもご覧ください。当会 Facebook ページはこちらです。→



<https://www.facebook.com/asaotamaminomorinokai/>

会員募集中 (年会費 1,000 円)

一度見学にお出で下さい。里山の楽しさを親子で味わって下さい。

皆さんの投稿、感想をお寄せ下さい。

お問い合わせ・連絡先: 井上 正樹
090-6019-3788 fqmcy643@ybb.ne.jp